



臥位での食事姿勢、誤嚥予防

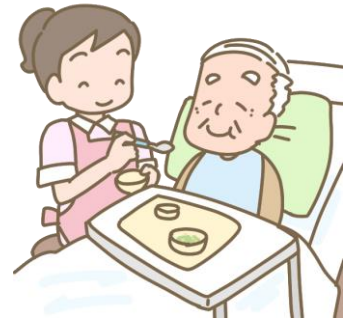


誤嚥性肺炎予防のために

在宅における食事介助にて、嚥下障害のある方への介助を行う場面は多いと思います。そうした中で見逃されやすいのがベッド上でのポジショニング(姿勢修正)です。ポジショニングを行う目的としては、以下が挙げられます。

- 1) 身体を安定させ、嚥下運動の負担を減らす
- 2) 嚥下反射を起こしやすい姿勢へ調整する
- 3) 嚥下した食物の胃からの逆流を予防する

上記からも、食事の場面におけるポジショニングは誤嚥性肺炎のリスクを減らすためのアプローチの一端を担うと考えられます。



ベッド上でのポジショニング

自力での座位保持困難、食事摂取全介助の場合を想定

ポイントは、足底接地！

嚥下筋である上下の舌骨筋群は頭部や体幹の安定にも関わっています。不安定な姿勢での嚥下は、姿勢安定に寄与したこれらの嚥下筋が過活動を起こし、嚥下困難感につながる事が報告されています。足底接地には、足底からの刺激によって姿勢を安定させる働きがあります。姿勢を安定させてあげることで嚥下筋の過活動を抑制し、本来の嚥下に対して十分に力を発揮できるようにする働きがあります。



ここに注目！！

訪問リハビリでは、ご本人様の状態に合わせた適切なポジショニングを通して安全な食事介助を実践していくお手伝いをさせていただきます。